

KOJIMA

Co.,Ltd.

第43期 中間事業報告書

2005.9 平成17年4月 1日から
平成17年9月30日まで



Kojima Co.,Ltd.
The 50th Anniversary

客世界への挑戦



<http://www.kojima.net>

株主の皆さまへ

創業50周年を節目に、次の50年へ向けて 「地域一番店の集合体・コジマ」確立に挑戦し続けます

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第43期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今後の経済見通しは、景気回復は緩やかに回復するものと見られるものの、原油高騰の影響や増税論議の高まり等から個人消費の伸びには不透明感もあって、本格的な回復局面には時間が必要な状況が続くものと思われます。当家電販売業界にあってはデジタル関連商品の需要拡大が期待されるものの、企業間競争はさらに厳しさを増していくことが予想されます。

こうした中、引き続き大型店の出店を実施する一方で店舗の統廃合を推進し、販売力と収益力の向上を図るべく、既存店の活性化策の実施や人員の効率運営と人材の育成、効率的な物流と在庫の実現、経費の見直し等を行い、収益構造改革の精度をさらに高めていく所存であります。

当社グループは、中期的な経営戦略に沿って収益構造改善の枠組み作りを終え、現在その定着化をより強固で確実にするための努力を行っております。

具体的には物流および在庫管理面では、全国5箇所の物流センターの設置が完了し、需要予測型自動発注システムを稼働させることで、その合理化および効率化を図り、販売面では店頭販売員にPDA（情報携帯端末機器）を携帯させることにより、迅速かつ確かな販売・商品情報を現場に届けることで販売効率を高め、また、お客様との関係強化を狙って発行した「コジマお客様カード」は順調に拡大しており、今後その効用を最大化していく所存であります。人事面では、全社員を対象に成果主義を導入いたしました。パート比率の引上げと併せて、人材の有効活用を推進してまいります。今後も引き続き効率的な店舗網構築のための統廃合の推進や計画仕入商品の強化等を図るとともに、こうした収益構造改善の諸施策がなお一層効果的に機能するよう取組み、さらには人材教育による接客力・商品知識力の向上による販売力の強化に注力していく所存であります。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成17年12月



代表取締役社長 小島章利

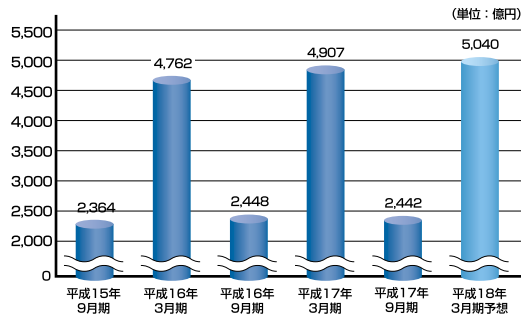
決算ハイライト

業績の推移

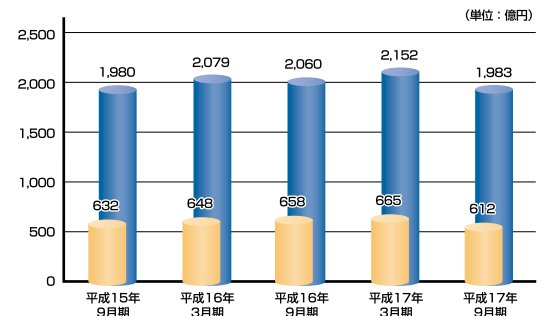
(単位：百万円)

区分	平成16年3月期 (平成15年4月1日 ～平成16年3月31日)	平成16年9月期 (平成16年4月1日 ～平成16年9月30日)	平成17年3月期 (平成16年4月1日 ～平成17年3月31日)	平成17年9月期 (平成17年4月1日 ～平成17年9月30日)
売上高	476,156	244,790	490,694	244,243
経常利益	3,141	2,919	5,670	3,180
当期純利益	492	1,401	2,222	△4,974
1株あたり当期純利益	12.65円	36.02円	57.13円	△127.85円
総資産	207,904	205,986	215,160	198,292
株主資本	64,804	65,810	66,456	61,163

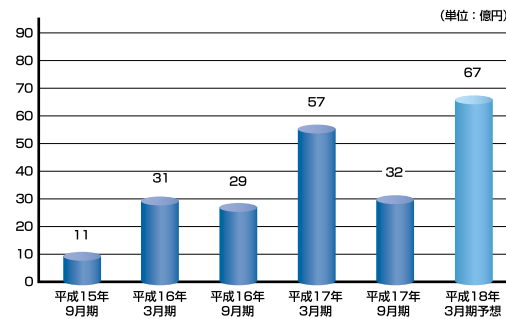
売上高の推移



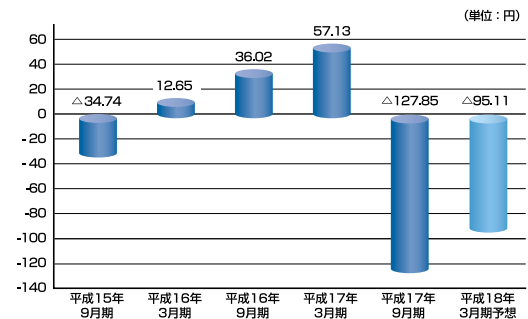
総資産・株主資本の推移



経常利益の推移



1株あたり当期純利益の推移



営業の概況

平成17年度中間期の市場動向と当社の取り組み

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業部門と家計部門がともに改善し、緩やかな回復局面が続き、企業収益は改善し、設備投資も緩やかではありますが増加し、雇用情勢は、厳しさが残るものの改善に広がりが見られ、個人消費についても緩やかに増加傾向にありました。

当家電販売業界は、薄型TVは低価格化への動きもあって市場が拡大していることから順調な伸びを示したものの、前年のオリンピック開催や猛暑による需要増の反動減により、DVDやエアコン、冷蔵庫等の一部白物

商品は低位な伸びにとどまり、総体的には低調な推移となりました。

このような環境下において、当社グループでは引き続き店舗の大型化と統廃合を推進し、収益構造改善策の実施状況の精度を高めることに努力するとともに、販売力アップのための人材教育に注力し、各種集合研修やテレビ会議による分野別研修を実施いたしました。また、職務能力と行動力の向上を図るべく導入しております成果主義の対象を管理職者から全社員へ拡大し、人事面による経営基盤の強化に努めました。

今期売上高は2,442億43百万円（前期比0.2%減） 経常利益は31億80百万円（同8.9%増）となりました

当中間連結会計期間における売上高は2,442億43百万円（前年同期比0.2%減）、経常利益は31億80百万円（同8.9%増）、当期純損失は49億74百万円（前年同期は当期純利益14億1百万円）となりました。

引き続き経営資源の強化構築に邁進し、収益力の向上を

図る諸施策を実施することによって、平成18年3月期（平成17年度）の業績につきましては、売上高5,040億円（前期比2.7%増）、経常利益67億20百万円（同18.5%増）、当期純損失37億1百万円（前期は当期純利益22億22百万円）を見込んでおります。

経営の方向性...収益構造改革の継続による成長を実現します

- 成果主義による執行役員制・管理職年俸制、スキル・コンピテンシー評価等の実施による全社員意識改革の推進
- 教育体制の充実
役割および業務分担に応じた教育体制の強化
- 資格制度の導入

- 3,000㎡を標準とする大型店舗の出店
- 店舗統廃合の推進、全国販売網の構築
- 適性化のための店舗リニューアル
・商品構成の適性化 ・マーケット規模への適性化

- 「コジマお客さまカード」の活用によるCRMの推進
- PDA（情報端末）等の高度ストアオートメーションによる店頭販売効率の向上
- 第4次CPFRへの取り組み
需要予測型自動発注システムの高度化による販売機会の拡大
- オートメーション・ロジックセンターの活用による物流コストの削減とネット・ワーク販売への対応



- 新製品販売の強化
- サービス・ビジネスの強化
- 計画仕入れの推進
- 滞留在庫の削減
- コンセプトブランドおよび専用商品の強化

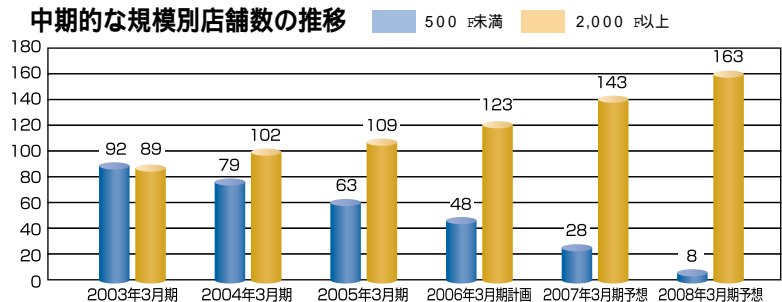
規模別店舗数の推移と今後の計画

売場面積3,000㎡を標準とする大型店舗の出店を強化し、マーケット規模に適応させるべく、500㎡未満の店舗を中心に、統廃合を積極的に行っています。



酒田店・鶴岡店を閉店・統合した「NEW三川店」

中期的な規模別店舗数の推移



	2003/03期	2004/03期	2005/03期	2006/03期計画	2007/03期予想	2008/03期予想
出店数	18	15	13	16	20	20
退店数	22	18	29	20	20	20
期末店舗数	250	247	231	227	227	227
期末売場面積	454,343㎡	489,692㎡	492,861㎡	525,912㎡	576,000㎡	626,000㎡

決算(連結)のご報告

【中間連結貸借対照表】

資産の部	平成16年度中間期	平成17年度中間期
	(平成16年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)
流動資産	107,299	99,731
現金及び預金	24,937	16,567
受取手形及び売掛金	7,064	7,726
有価証券	6,000	—
たな卸資産	61,662	67,308
繰延税金資産	1,022	764
その他	6,710	7,451
貸倒引当金	96	87
固定資産	98,686	98,561
有形固定資産	70,720	68,516
建物及び構築物	77,454	76,729
減価償却累計額	28,532	31,096
土地	18,626	19,194
建設仮勘定	389	979
その他	6,909	7,296
減価償却累計額	4,126	4,586
無形固定資産	815	878
投資その他の資産	27,150	29,166
投資有価証券	752	1,057
長期差入保証金	21,721	21,923
繰延税金資産	768	1,959
その他	3,954	4,271
貸倒引当金	46	46
資産合計	205,986	198,292

(単位:百万円)

負債の部	平成16年度中間期	平成17年度中間期
	(平成16年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)
流動負債	76,474	78,913
買掛金	32,758	36,829
1年以内返済予定長期借入金	21,810	31,567
1年以内償還予定の社債	200	200
1年以内償還予定の転換社債	10,000	—
未払法人税等	1,581	996
未払事業所税	138	158
未払消費税等	1,099	362
その他	8,886	8,799
固定負債	63,701	58,214
社債	400	200
新株予約権付社債	6,000	6,000
長期借入金	54,676	48,576
ポイント引当金	1,181	1,805
退職給付引当金	36	34
役員退職慰労引当金	209	206
その他	1,197	1,392
負債合計	140,176	137,128

少数株主持分

少数株主持分	-	-
--------	---	---

資本の部

資本金	18,914	18,916
資本剰余金	20,938	20,940
利益剰余金	25,871	21,036
その他有価証券評価差額金	86	271
自己株式	0	0
資本合計	65,810	61,163
負債、少数株主持分及び資本合計	205,986	198,292

中間期決算報告（連結）

【中間連結損益計算書】

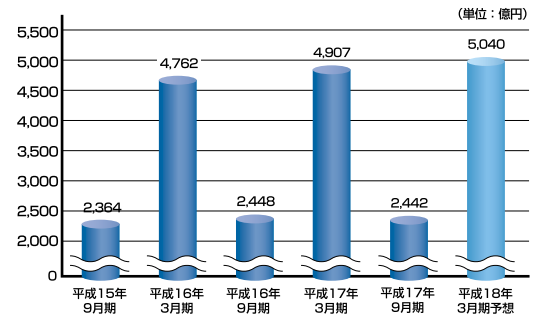
（単位：百万円）

	平成16年度中間期 <small>（平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで）</small>	平成17年度中間期 <small>（平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで）</small>
売上高	244,790	244,243
売上原価	204,730	203,211
売上総利益	40,059	41,031
販売費及び一般管理費	41,404	42,697
営業損失	1,345	1,666
営業外収益	4,979	5,541
受取利息	53	55
受取配当金	2	9
販促協賛金	4,813	5,285
その他	110	191
営業外費用	714	694
支払利息	579	606
その他	135	88
経常利益	2,919	3,180
特別利益	5	637
投資有価証券売却益	-	-
貸倒引当金戻入額	5	31
特別損失	266	8,295
投資有価証券評価損	9	3
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	227	127
減損損失	-	8,077
退店関連損失	29	87
過年度社会保険料	-	-
税金等調整前中間純利益 又は中間純損失()	2,658	4,477
法人税、住民税及び事業税	1,434	865
法人税等調整額	178	368
中間純利益又は中間純損失()	1,401	4,974

売上高

2,442 億円

前期比 0.2%減



経常利益

32 億円

前期比 8.9%増

当中間期純損失

50 億円

前年同期は当期純利益14億1百万円

中間期決算報告（連結）

【連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	平成16年9月期	平成17年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成17年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間純利益				
又は中間純損失（ ）	2,658	4,477	7,135	
減価償却費	2,347	2,282	65	
役員退職慰労引当金の増減額	6	16	22	
退職給付引当金の増減額	1	0	1	
ポイント引当金の増加額	348	290	58	
貸倒引当金の増減額	5	31	36	
受取利息及び配当金	55	65	10	
支払利息	579	606	27	
為替差損益	2	-	2	
投資有価証券評価損	9	3	6	
固定資産売却損	0	606	606	
固定資産除却損	227	127	100	
減損損失	-	8,077	8,077	
売上債権の増減額	396	1,093	697	
たな卸資産の増減額	12,045	693	11,352	
仕入債務の増減額	9,397	7,092	2,305	
その他	319	3,030	2,711	
小計	8,841	2,146	10,987	
利息及び配当金の受取額	58	45	13	
利息の支払額	572	601	29	
法人税等の支払額	663	2,360	1,697	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,664	5,063	12,727	
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の払戻による収入	23	-	23	
投資有価証券の取得による支出	5	10	5	
有形固定資産の取得による支出	2,533	6,008	3,475	
有形固定資産の除却による支出	35	65	30	
有形固定資産の売却による収入	0	2,488	2,488	
無形固定資産の取得による支出	43	28	15	
その他の投資等の増減額	100	717	817	
その他	77	33	44	
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,415	4,308	1,893	
財務活動によるキャッシュ・フロー				
長期借入れによる収入	10,000	12,000	2,000	
長期借入金の返済による支出				
新株予約権付社債の発行による収入	9,684	11,976	2,292	
社債の償還による支出	6,000	-	6,000	
転換社債の償還による支出	100	100	0	
配当金の支払額	-	-	-	
配当金の支払額	388	427	39	
その他	0	-	-	
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,827	504	6,331	
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-	2	
現金及び現金同等物の増減額	11,078	9,875	20,953	
現金及び現金同等物の期首残高	19,858	26,443	6,585	
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	30,937	16,567	14,370	

営業活動によるキャッシュ・フロー

51 億円

前期は77億円

投資活動によるキャッシュ・フロー

43 億円

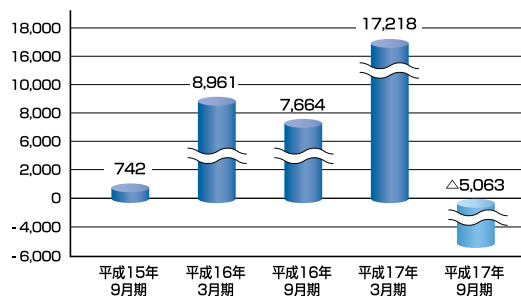
前期は24億円

財務活動によるキャッシュ・フロー

5 億円

前期は58億円

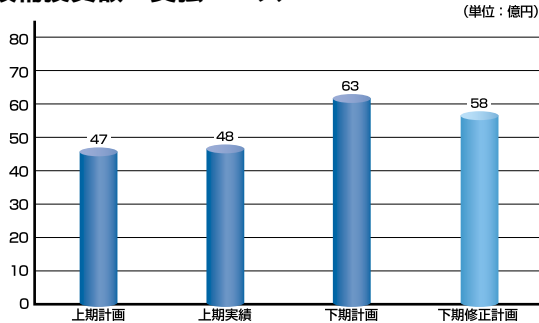
営業活動によるキャッシュ・フローの推移（単位：百万円）



長期展望に基づく新規大型店舗の出店

平成17年度に予定の設備投資計画数値です。上期に4店舗を新設し、下期には12店舗を計画しております。その売場面積は平均2,317㎡であり、好立地による高効率の店舗網拡充を目指しております。

設備投資額－支払ベース－



< 連結子法人について >

当社グループは、当社（連結財務諸表提出会社）、株式会社アピア（連結子会社）、有限会社ケーケーワイ（非連結子会社で持分法非適用会社）および有限会社サンデスマイル（非連結子会社で持分法非適用会社）から構成されており、当社が家庭用電化製品の販売を、株式会社アピアが会場および飲食の提供、旅行業、不動産の賃貸、生命保険の募集、広告代理業等の総合サービス業を、有限会社サンデスマイルが損害保険代理業を主な事業として行っております。

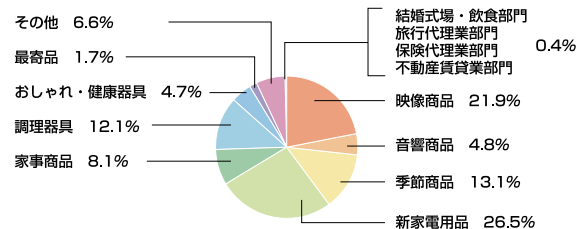
当期の営業状況 商品の動向

部門別の売上高は、家電品販売業部門では2,433億65百万円（前年同期比0.3%減）となりました。その内訳といたしましては、映像商品が535億93百万円（同0.7%減）音響商品が117億64百万円（同4.3%減）季節商品が320億25百万円（同4.9%減）新家電用品が647億20百万円（同6.1%増）家事商品が199億3百万円（同0.3%増）調理器具が295億96百万円（同7.3%減）おしゃれ・健康器具が113億89百万円（同1.0%増）最寄品が42億37百万円（同3.8%増）、その他が161億34百万円（同1.2%増）となりました。

また、会場の運営及び飲食業部門およびその他部門を合計した売上高は8億78百万円（同14.2%増）となりました。

各商品・部門の売上状況と構成比

映像商品	= 53,593 (単位は百万円)	99.3% (前年同期比)
音響商品	= 11,764	95.7%
季節商品	= 32,025	95.1%
新家電用品	= 64,720	106.1%
家事商品	= 19,903	100.3%
調理器具	= 29,596	92.7%
おしゃれ・健康器具	= 11,389	101.0%
最寄品	= 4,237	103.8%
その他	= 16,134	101.2%
結婚式場・飲食部門	= 257	92.0%
旅行代理業部門	= 55	117.2%
保険代理業部門	= 13	94.4%
不動産賃貸業部門	= 551	129.0%



決算（単体）のご報告

【中間貸借対照表】

資産の部	（単位：百万円）	
	第42期（中間） （平成16年9月30日現在）	第43期（中間） （平成17年9月30日現在）
流動資産	107,053	99,506
現金及び預金	24,677	16,382
受取手形	192	210
売掛金	6,824	7,485
有価証券	6,000	-
たな卸資産	61,636	67,245
繰延税金資産	1,022	764
その他	6,792	7,499
貸倒引当金	92	80
固定資産	98,742	98,339
有形固定資産	69,594	67,532
建物	45,504	42,460
土地	18,522	19,090
その他	5,567	5,981
無形固定資産	801	864
投資その他の資産	28,346	29,943
投資有価証券	752	1,047
長期差入保証金	21,670	21,873
繰延税金資産	744	1,935
その他	5,224	5,132
貸倒引当金	46	46
資産合計	205,796	197,846

負債の部	（単位：百万円）	
	第42期（中間） （平成16年9月30日現在）	第43期（中間） （平成17年9月30日現在）
流動負債	75,576	78,059
買掛金	32,739	36,794
1年以内返済予定長期借入金	21,804	31,561
1年以内償還予定の社債	200	200
1年以内償還予定の転換社債	10,000	-
未払法人税等	1,580	995
その他	9,252	8,508
固定負債	63,638	58,156
社債	400	200
新株予約権付社債	6,000	6,000
長期借入金	54,665	48,570
ポイント引当金	1,181	1,805
役員退職慰労引当金	193	188
その他	1,197	1,392
負債合計	139,214	136,216

資本の部		
資本金	18,914	18,916
資本剰余金	20,938	20,940
資本準備金	20,938	20,940
利益剰余金	26,642	21,502
利益準備金	670	670
任意積立金	24,000	24,000
中間未処分利益又は 中間未処理損失（ ）	1,972	3,167
その他有価証券評価差額金	86	271
自己株式	0	0
資本合計	66,581	61,629
負債及び資本合計	205,796	197,846

中間期決算報告（単体）

【中間損益計算書】

（単位：百万円）

経常損益の部	第42期（中間）	第43期（中間）
	（平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで）	（平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで）
売上高	244,455	243,924
売上原価	204,490	203,035
売上総利益	39,965	40,889
販売費及び一般管理費	41,203	42,564
営業損失	1,238	1,674
営業外収益	4,987	5,546
営業外費用	716	696
経常利益	3,032	3,174
特別利益	5	638
特別損失	266	8,224
税引前中間純利益又は 中間純損失（ ）	2,772	4,410
法人税、住民税及び事業税	1,434	865
法人税等調整額	178	368
中間純利益又は中間純損失（ ）	1,515	4,907
前期繰越利益	456	1,739
中間未処分利益又は中間未処理損失（ ）	1,972	3,167

一株あたりの株主配当金

6.50 円

当中間期の中間配当金は6.50円。昨年同期と同額です。年間配当金は、16.50円を予定しております。

当期の営業状況 — 店舗の動向 —

店舗政策といたしましては、新店舗として埼玉県新座市のNEW新座店をはじめとする計4店舗を開設し、また、秋田県秋田市の卸団地店をはじめとする計9店舗を閉店したことから、当中間連結会計期間での店舗数は226店舗となりました。

平成17年10月から平成18年3月までの 新規店舗開店予定

関東地区に6店舗、東北地区に3店舗、北陸甲信越地区に1店舗、沖縄に1店舗、中部東海地区に1店舗の出店を計画しております。

新コンセプトブランド 「カラフルモザイク」

創業50周年特別企画のひとつとして、
コジマ新コンセプトブランド
「カラフルモザイク」の販売を、
10月より開始しました。

● 自分の好みに合う色が選べる フローリング家電

「カラフルモザイク」は、フローリングの床にもびったりの、こたつ、こたつふとん、ホットカーペットカバー・こたつマット、3連クッション、2連クッション、シートクッション、ブランケットの7アイテムからなる商品シリーズ。

最大の特徴は、13色ものカラフルなカラー展開から、好みの色を自由に選んでオリジナルの組み合わせができる、インテリア性の高さです。パッションスキンレッド、スモークスカイブルー、ハッピーイエローなど、みずみずしく鮮やかな色づかいで、お客さまにとって居心地のよい、くつろぎの空間を演出します。

● 素材やカラーリングへのこだわり

生地には、ソフトで滑らかな肌ざわりのマイクロファイバー素材を使用。マイクロファイバーは、髪の毛の100分の1程度にまで細く加工した超極細繊維で、たった5gの原糸を伸ばすと月までの距離に匹敵するほどの超極細糸です。毛玉になりにくい抜群の耐久性を誇るとともに、しなやかな感触と温かみのある手触り感がポイントで、もちろん保温性にもすぐれています。

なおカラーリングは、当社の人気シリーズである、新生活者向けインテリア家電「フレッシュグレー」同様、デザイナーの坂本廣樹氏が監修。人気の高い色はネット上で完売となるなど、売れ行きは好調です。

好きな色は譲れないから。
くつろぐ時も、わたし色。



Produced by kojima

コジマカラフルモザイクは、全国のコジマ各店舗、またはコジマホームページにてお問い合わせいただけます。



カラフルモザイクの色の組み合わせをバーチャル体験できる「カラーシミュレーション」をはじめ、商品購入・詳しい商品情報やTVCMなどの豊富なコンテンツをお楽しみ頂けます。

● 新しい販売方法の構築と今後の展開

コジマホームページ (kojima.net) には、「カラフルモザイク」専用サイトを設けました。「カラーシミュレーター」では、7アイテム・各13色の組み合わせで、実に62,748,517パターンものカラーコーディネートを実験できます。また、現在50アイテムを揃える「フレッシュグレー」シリーズを実際に部屋に置いたイメージが、「ルームシミュレーター」で体験できます。このように、店頭での対面販売はもちろん、時代に沿ったインターネット販売にも注力しています。

これらコンセプトブランドの商品シリーズは、ひとり暮らしの若者にターゲットを絞つつ、そのシンプルなデザイン、機能、コストパフォーマンスから、幅広い世代の支持を得ています。当社では、話題の新商品をいち早く、よりお求めやすい価格でお届けするとともに、お客さまに快適な生活を提案するオリジナルブランドを今後も発表してまいります。

お客様第一主義に基づき、 信頼とサービスの向上に努めています

コジマドリームボックスで 現金還元クーポンをプレゼント

お客さまとのより良いコミュニケーションを図り、サービス向上を目的とした「コジマお客様カード」。ご加入者が2年間で1,000万人を突破したのを記念して、ご来店のお客様に100～4,000円の現金還元クーポンを進呈します。コジマ全店の店頭で設置されたコジマドリームボックスにカードのバーコードをかざすと、その場で抽選を行い、発行当日の買い物にクーポンを利用できるシステム。今後「コジマお客様カード」の利便性を更に向上させます。



高知県に初出店！ 「NEW高知インター店」オープン

高知県下で初店舗となる「NEW高知インター店」(高知市)を、8月にオープンいたしました。延床面積7,103㎡、売場面積2,730㎡の大型店舗で、常時130台が駐車可能な大型駐車場も完備。一般家電をはじめ、パソコン関連品や情報関連商品、映像商品などを約10,000品目にわたって展開。また、DVD・CD・ゲームソフトなどを扱う「コジマソフト」は約6,000品目と、豊富な品揃えで地域の皆さまのニーズに応えます。



業界初！情報セキュリティ マネジメントシステムの認証を取得

本年4月より施行された個人情報保護法をふまえ、情報に関する適切な管理を行うことによって、お客さまより一層の信頼を得るため、情報システム本部ではISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の取得に取り組んでまいりました。情報が適切に管理されていることが評価され、国際的標準規格「BS7799-2:2002」および日本国内の標準規格「ISMS適正評価制度(Ver.2.0)」の認証を、5月、家電小売業として初めて取得いたしました。



コジマ「ストアサポーター」に 生島ヒロシ氏が就任

様々な家電製品の情報を、広告(チラシ・ホームページ・テレビCM・新聞広告など)を通じて、お客さまへ伝えていただくコジマ「ストアサポーター」として、キャスター・生島ヒロシ氏が就任しました。第一弾として、「生島ヒロシの『健康家電100選』」を8月からスタート。生島氏とコジマ専門スタッフが、体と心の健康に役立つ家電製品を毎週100アイテム厳選。血圧計、空気清浄機などのおすすめアイテムを、店頭にてご紹介しています。



会社概要

会社概要(平成17年9月30日現在)

商号	株式会社コジマ Kojima Co., Ltd.
本社	〒320-8528 栃木県宇都宮市星が丘2丁目1番8号
電話番号	(028) 821-0001(大代表)
ホームページ	http://www.kojima.net
創業	昭和30年4月
設立	昭和38年8月
代表取締役社長	小島 章利
資本金	189億1,664万円
従業員数	4,838名
取引銀行	足利銀行、みずほ銀行、三井住友銀行 UFJ銀行、栃木銀行、りそな銀行 常陽銀行、第四銀行 群馬銀行、殖産銀行 大東銀行、住友信託銀行 みずほ信託銀行

取締役および監査役(平成17年9月30日現在)

代表取締役社長	小島 章利
取締役副社長	大垣 悦男
取締役兼専務執行役員 業務支援担当	石川 英男
取締役兼専務執行役員 人事本部長	加藤 孝幸
取締役兼専務執行役員 総務本部長	森 真貴
取締役兼専務執行役員 営業本部長	佐藤 元彦
取締役兼常務執行役員 経営企画室長	寺崎 悦男
取締役兼常務執行役員 商品本部長兼AVC統括	山元 栄三
常勤監査役	秋元 孝則
監査役	平山 孝一
監査役	相澤 光江

株主メモ

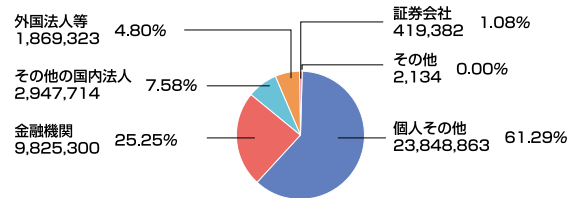
(1)決算期	毎年3月31日
(2)基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
(3)利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、9月30日現在の株主に対し、お支払いいたします。)
(4)定時株主総会	毎年6月
(5)1単元の株式の数	100株
(6)名義書換代理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物の送付先 電話お問い合わせ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (代表)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 (プラネットブースを除く)
(7)公告掲載紙	日本経済新聞
(8)決算公告の ホームページのご案内	当社の決算公告は日本経済新聞による決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しておりますので、ご案内いたします。 当社の決算公告が掲載されているホームページアドレスは次のとおりです。 http://www.kojima.net/kessan.html
(9)株主優待制度	毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主に対し、以下の内容にて、ご優待いたします。 (1)株主ご優待券 贈呈基準 所有株式数 贈呈枚数 100株以上500円券×2枚 500株以上500円券×6枚 1,000株以上500円券×10枚 3,000株以上500円券×30枚 5,000株以上500円券×40枚 利用方法 5,000円以上のお買上(限定商品を除く)につき5,000円毎に1枚をご利用いただけます。 有効期限 翌年6月30日まで有効 取扱店舗 当社全店舗および通信販売での購入にご利用いただけます。 (2)自社企画商品割引(100株以上)

株式情報

株式の情報（平成17年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数	97,200,000株
発行済み株式の総数	38,912,716株
1単元の株式の数	100株
自己株式数	434株
株主総数	16,339名

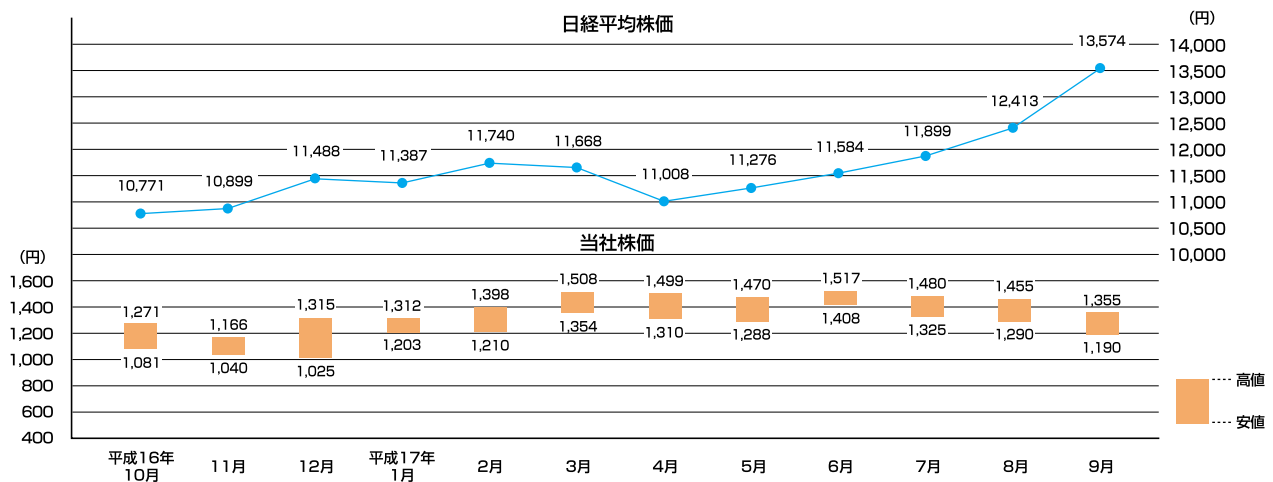
所有者別株式分布状況



大株主（上位10名）

順位	大株主	所有株式数(株)	議決権比率 (%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,588,700	6.65
2	小島 勝平	2,502,100	6.43
3	小島 章利	2,470,036	6.34
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,216,700	5.69
5	有限会社ケーケーワイ	2,030,400	5.21
6	小島 金平	1,935,456	4.97
7	小島 三子	1,932,000	4.96
8	小島 由三	1,800,000	4.62
9	株式会社足利銀行	1,171,800	3.01
10	寺崎 佳子	980,000	2.51

株価の推移（東京証券取引所）



店舗一覧(平成17年11月30日)

北海道	NEW三川店	NEW足利店	NEW上福岡店	NEW東久留米店	新潟県	愛知県	兵庫県	NEW福岡春日店
札幌本店		NEW東店	NEWと野店	NEW江戸川店	燕三条店	NEW熱田店	NEW垂水店	NEW福岡西店
篠路店	福島県	NEW栃木店	NEW坂戸店	NEW八王子店	長岡店	NEW豊橋店	NEW名谷店	NEW小倉東インター店
澄川店	いわき店	NEW宇都宮南店	NEW浦和店	NEW東大和店	NEW新潟店	NEW岡崎店	NEW大開店	佐賀県
函館店	会津若松店	NEW小山店	NEW鳩ヶ谷店	NEW井草店	NEW上越店	NEW瀬戸店	NEW長田店	NEW鳥栖店
白石本通店	小名浜店	NEW佐野店	NEW越谷店	NEW用賀店		NEW日進店	NEW手柄店	
平岡店	方木田店	コジマ薬品星が丘店	NEW熊谷店	NEW府中店	山梨県	NEW一宮店	NEW鳴尾店	長崎県
五稜郭東	NEW白河店	コジマ薬品みどり野店	NEW新座店	NEW若林店	NEW甲府	NEW有松インター店	NEW芦屋店	NEW長崎店
NEW手稲店	NEW郡山店		NEW上尾春日店	NEW志村店	NEW甲府バイパス店	NEW清洲東インター店	NEW南武庫之荘店	
		群馬県	NEW加須店	NEW町屋店				熊本県
青森県	茨城県	太田店	NEW春日部店	NEW加平店	石川県	三重県	奈良県	NEW熊本店
弘前東店	古河店	藤岡店		NEW西新井店	NEW金沢駅西店	NEW四日市店	NEW香芝店	NEW熊本インター店
八戸店	水戸店	NEW高崎店	千葉県	NEW新小岩店			NEW奈良店	
NEW青森	石岡店	NEW日吉店	我孫子店	NEW三鷹店	福井県	京都府		大分県
	勝田店	NEW前橋大友店	野田店	NEW池上店	NEW福井店	NEW伏見店	和歌山県	NEW大分店
岩手県	土浦店	NEW館林	木更津店	NEW善福寺店		NEW桂大橋店	NEW野崎店	
盛岡店	牛久店	NEW大泉	佐倉店		富山県	NEW高野店		鹿児島県
花巻店	守谷店	NEW桐生店	成田店	神奈川県	富山店		岡山県	NEW谷山店
西仙北店	学園都市店	NEW伊勢崎店	NEW花見川店	平塚北店	NEW西富山店	大阪府	NEW倉敷店	NEW与次郎店
	NEW水戸インター店		NEW千葉中央店	港北インター店		NEW門真店	NEW岡山店	
宮城県	NEW下館店	埼玉県	NEW幕張インター店	横浜店	長野県	NEW和泉店		広島県
仙台店	NEW日立南店	東松山店	NEW君津店	伊勢原店	NEW長野店	NEW緑地公園店	香川県	NEW宇品店
NEW多賀城店		川越インター店	NEWユカリが丘店	NEW新杉田店	NEW松本	NEW松原店		
名取店	栃木県	狭山店	NEW柏店	NEW青葉台店		NEW箕面店	静岡県	NEW高松店
石巻西店	県北店	鴻巣店	NEW松戸店	NEW厚木栄町店	岐阜県	NEW茨木店	NEW旭店	NEW高知店
愛宕橋店	NEW上三川店	NEW深作店	NEW船橋	NEW藤沢店	NEW西岐阜店	NEW東大阪店	NEW生野店	NEW高知インター店
古川店	鳥山店	指扇店		NEW小田原店	NEW岐大バイパス店	NEW堺店	NEW旭店	
NEW泉中央店	今市店	蓮田店	東京都	NEW海老名店	静岡県	NEW生野店	NEW旭店	愛媛県
	黒磯店	幸手店	足立店	NEW平間店	NEW静岡店	NEWりんくう羽倉崎店		
秋田県	矢板店	東所沢店	青梅店	NEW横浜日吉店	NEW静岡店	NEWあべの店	高知県	
NEW卸団地店	光陽台店	NEW和光店	昭島店	NEW梶ヶ谷店	NEW浜松店	NEW高槻店		
(12月3日オープン予定)	NEW駒生店	南越谷店	上板橋店	NEW横須賀店	NEW東浜松店	NEW大東店		
	真岡店	NEW大宮店	多摩店	NEW相模原店	NEW静岡有明店	NEW大東店		
山形県	氏家店	NEW所沢西店	小平店	NEW座間店	NEW沼津店	NEW寝屋川店	福岡県	
山形店	大田原店	NEW川口店	高島平店		NEW富士店		NEW福岡空港店	
米沢店	鹿沼店	NEW久喜	NEW豊玉店				NEW八幡店	

平成17年4月から平成18年3月までの新規店舗開店予定

上期にはNEW新座店(埼玉県)など4店舗を出店。また下期には12店舗と、通期計16店舗の出店を計画しております。

